

事務事業名		田沼庁舎集中管理自動車維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	田沼行政センター
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	総務係	担当課長名	山口みどり	
	施策	1 効率的な行政経営の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 効率的・効果的な事務事業の推進と組織編成					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1137	一般	2	1	6	田沼庁舎集中管理自動車維持管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	佐野市有自動車等使用及び管理規程					
	事業区分						任意的事業・義務的事業		義務的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		その他内部事務事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
<ul style="list-style-type: none"> 公用車の車検、定期点検、保険加入、修繕 公用車の効率的な運行管理 			<ul style="list-style-type: none"> 集中管理自動車の車検、定期点検、オイル交換、修繕、保険加入手続き等を行った。 集中管理自動車の効率的運行のため、予約の調整を行った。 							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
集中管理車両の年間給油量			ℓ	30,184	27,327	23,000				
集中管理車両の年間走行距離			km	369,198	336,689	300,000				
1ℓ当たりの走行距離			km/ℓ	12	12	13				
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
<ul style="list-style-type: none"> 職員 集中管理車両 			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			職員(田沼庁舎)		人	241	280	209		
			車両数(原付1台含む)		台	38	37	35		
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
<ul style="list-style-type: none"> 集中管理車の適正な運行管理、車両管理を行うことにより円滑な業務遂行を行えるようにする。 車両台数の適正化 			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			車両1台当たりの事業費		千円	217	200	190		
			平均稼働率		%	53	49	55		
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
総合計画に基づいた効率的・効果的な事務事業の執行を推進するとともに、それに向けた組織編成がなされる。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			休廃止した事務事業数		事業	130	89	115	110	105
			見直しの図られた事務事業数		事業	465	498	595	590	585

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	8,237	7,399	9,633					
	事業費計(A)	千円	8,237	7,399	9,633	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	301	消耗品費	563	消耗品費	782		
			燃料費	4,699	燃料費	4,309	燃料費	5,462		
修繕料			1,487	修繕料	1,132	修繕料	1,721			
手数料			232	手数料	178	手数料	231			
自動車保険料			1,127	自動車保険料	976	自動車保険料	1,072			
講習会負担金			21	講習会負担金	21	講習会負担金	21			
自動車重量税	370	自動車重量税	219	自動車重量税	344					
人件費	人	3	3	2	2	2				
のべ業務時間	時間	900	900	700	400	400				
人件費計(B)	千円	3,502	3,547	2,759	1,576	1,576				
トータルコスト(A)+(B)	千円	11,739	10,946	12,392	1,576	1,576				

事務事業名	田沼庁舎集中管理自動車維持管理事業	担当部	市民生活部	担当課	田沼行政センター	担当係	総務係
-------	-------------------	-----	-------	-----	----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・合併により分庁舎方式となり、それぞれの庁舎で公用車を集中管理とし、有効利用及び公用車台数の削減を進めるため開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・環境問題が大きく取沙汰されるようになり、アイドリングストップや低公害車の購入などに積極的に取り組むべきである。一方、分庁舎方式のため公用車の使用頻度が増加している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	・集中管理車両の点検を適宜行うことにより、故障を最小限に防ぐことができ、経費節減を図ることができた。
事業のやり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・集中管理を行うことにより、効率的な車両管理ができ、事業費の削減に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・業務を行う上で公用車は必要不可欠なものであり、車両管理は業務上行わなければならないものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	対象を見直す必要がある	理由・改善案	・総合庁舎完成に伴い、田沼庁舎勤務職員数が大幅に減るため、車両台数の見直しが必要になる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	・必要最短時間の予約の徹底により、車両の稼働率を上げる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	・分庁舎のため、庁舎ごとに管理をすることにより事業の効率化が図れるため、統合・連携はできない。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	類似事務事業名	公用車維持管理事業(本庁舎)	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	・職員の公用車使用に対する意識を変えることにより、修繕料等の削減が図れる。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	・事務執行に必要なことであり、受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
・市の業務を行う上で公用車は必要不可欠なものであるため、廃止や休止はできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ・管理車両の点検、職員への安全教育の徹底をすることにより、修繕料等の削減をする。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×	・職員の意識改革と協力が不可欠である。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○		×																					
	低下		×	×																					